APA GROUP
News & Information

2026年11月10日

アパグループ
大田区大鳥居駅前にホテル開発用地を取得

総合都市開発のアパグループ（本社：東京都港区赤坂3-2-3　社長兼CEO：元谷 一志）は東京都大田区（大田区羽田一丁目5番2他（地番））にホテル開発用地を取得し、ホテル建設計画を発表した。

本案件は、京浜急行電鉄空港線「大鳥居駅」より徒歩2分に位置する。同沿線上で、2022年7月22日に開業した、アパホテル〈羽田 穴守稲荷駅前〉（全160室）が開業時から好調な稼働状況を受け、同エリアにおけるインバウンドおよびビジネス需要の更なる獲得を目指し、今回の計画に至った。

当計画は、アパホテル〈羽田空港 大鳥居駅前〉として212室のホテルを建設し、2028年夏頃の開業を目指す。

【計画概要】

ホテル名（仮称）	規　模	延床面積	客室数
アパホテル〈羽田空港 大鳥居駅前〉	9階建	約3,840㎡	212室

今回の計画を含め、大田区内のアパホテルは、現在運営中であるアパホテル〈蒲田駅東〉（全220室）、アパホテル〈大森駅前〉（全347室）、アパホテル〈京急蒲田駅前〉（全144室）、アパホテル〈蒲田駅前〉（全142室）、アパホテル〈羽田 穴守稲荷駅前〉（全160室）、アパホテル〈京急蒲田駅前西〉（全220室）、アパホテル〈大森駅前東〉（全180室）の8棟・1,625室、グループ会社のエンホテルはEN HOTEL Tokyo Kamata（2026年12月1日開業予定・全89室）の1棟・89室、国内自社ブランドとして9棟・1,714室の予定となる。今後も「アパホテル」「エンホテル」「the b」のそれぞれの特性を活かしながら自社ブランドホテルの出店を進めていく。

また、現在進めている「選択と集中」戦略に基づき、現在運営中のアパホテル〈宮崎駅橘通〉（宮崎市橘通東三丁目・全167室）について、2026年12月4日よりホテル運営を直営から株式会社TKP（本社：東京都新宿区市谷八幡町8番地 代表取締役社長：河野 貴輝）によるフランチャイズ営業へと転換する。なお、株式会社TKPが宮崎県内で運営するアパホテルは、アパホテル〈宮崎延岡駅前〉（全192室）、アパホテル〈宮崎延岡中央〉（全93室）を含め、3棟・452室となる。

【アパグループ】

国内自社ブランドとして366ホテル・86,077室、海外57ホテル・5,850室を展開している（建築・設計中含む）。2022年4月より始動した5ヶ年計画「AIM5 ～APA Innovative Movement」の目標について前倒しで達成の目途が立ったことを受け、2026年4月に新中期5ヶ年計画「AIM5-Ⅱ」を始動。2031年3月末までに国内自社ブランド単独10万室を目標とするほか、ホテル分野におけるプラットフォーム事業やマルチ・ブランド化、海外事業に関しては北米事業の強化および次期戦略エリアの模索を推進する。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 社長室
住所：東京都港区赤坂3-2-6
電話：03-5570-2131
E-Mail：kouhou@apa.co.jp　URL：www.apa.co.jp